

府内河川の状況について

1 類型指定の状況

(1) 生活環境の保全等に関する項目（pH、BOD、DO、SS、大腸菌群数）

生活環境の保全等に関するBOD等5項目の河川水質環境基準については、水道、水産、農業用水など利用目的に対応してAA～Eの6つの類型が設定されている。大阪府内の河川では、表1に示すとおり、昭和45年以降、順次、類型指定・改定を行ってきている。平成28年4月現在では、環境大臣が淀川、神崎川、猪名川及び大和川の4河川7水域について、大阪府知事がその他の69河川74水域について、それぞれ指定している。

大阪府では、これまで上位類型への改定を積極的に行ってきた結果、全体に占める上位類型（A類型、B類型）の水域数の割合が、昭和45年当初は19%であったのに対し、現在では69%となっている。

表1 BOD等の類型指定・改定の経緯と現在の指定状況（1）

指定・改定年月	概要	指定水域数						計
		AA	A	B	C	D	E	
① 昭和45年9月	国が淀川、大和川等の主要河川（20河川26水域）を類型指定（その後、淀川、神崎川、猪名川、大和川を除く16河川は府に移管）	0	1	4	2	4	15	26
② 昭和48年3月	府が泉州の主要河川（20河川23水域）を類型指定	0	10	10	2	5	22	49
③ 昭和50年10月	府が淀川、大和川の支川（13河川16水域）を類型指定	0	12	19	4	6	24	65
④ 昭和53年4月	府が十三間堀川（河川形態喪失）の類型指定を解除	0	12	19	4	6	23	64
⑤ 平成4年2月	府が水無瀬川等9河川9水域を類型指定 安威川下流(2)及び大阪市内河川の11水域の類型を改定 大川の指定範囲を拡大（大川→大川及び城北川）	0	14	20	19	4	16	73
⑥ 平成13年3月	国が神崎川及び猪名川下流(2)の類型を改定	0	14	21	19	5	14	73
⑦ 平成14年6月	府が安威川下流(1)～(3)等9水域の類型を改定	0	17	23	15	5	13	73
⑧ 平成15年3月	国が淀川下流(2)の類型を改定	0	17	23	16	4	13	73
⑨ 平成15年5月	府が神崎川の2次支川等7河川7水域を類型指定 寝屋川等13水域の類型を改定	0	22	27	14	10	7	80
⑩ 平成21年3月	国が猪名川上流の類型を改定	0	23	26	14	10	7	80
⑪ 平成21年6月	府が寝屋川等15河川17水域の類型を改定	0	29	27	8	13	4	81

区分	河川水域名	区域	指定状況											現在	
			① S45	② S48	③ S50	④ S53	⑤ H4	⑥ H13	⑦ H14	⑧ H15	⑨ H15	⑩ H21	⑪ H21		
淀川水系	淀川下流(1)	宇治川合流点から長柄堰まで	Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bハ
	淀川下流(2)	長柄堰より下流	Dイ	→	→	→	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	Cイ
	船橋川	全域			Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bハ
	穂谷川	全域			Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bハ
	樽尾川	全域			Bロ	→	→	→	→	→	→	→	→	Bイ	Bイ
	天野川	奈良県界より下流			Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bハ
	芥川(1)	京都府界から塚脇橋まで			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	芥川(2)	塚脇橋より下流			Bロ	→	→	→	→	→	Aイ	→	→	→	Aイ
	水無瀬川	全域					Aイ	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	神崎川	安威川、猪名川を除く神崎川	Eハ	→	→	→	→	Bロ	→	→	→	→	→	→	Bロ
神崎川水系	安威川上流	茨木市取水口より上流	Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	安威川下流(1)	茨木市取水口から戸伏まで	Bハ	→	→	→	→	→	Bイ	→	→	→	→	Aイ	Aイ
	安威川下流(2)	戸伏から大正川合流点まで	Dハ	→	→	→	Cイ	→	Bロ	→	→	→	→	Aイ	Aイ
	安威川下流(3)	大正川合流点より下流	Eハ	→	→	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	Bロ	Bロ
	佐保川及び茨木川	全域					Cイ	→	Bイ	→	→	→	→	Aイ	Aイ
	大正川	全域					Cロ	→	Bロ	→	→	→	→	Aイ	Aイ
	勝尾寺川	全域					Cロ	→	Bロ	→	→	→	→	Aロ	Aロ
	猪名川上流	箕面川合流点より上流	Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	→	→	Aイ
	猪名川下流(2)	漢川分岐点から漢川合流点まで	Eハ	→	→	→	→	Dイ	→	→	→	→	→	Dイ	
	箕面川(1)	箕面市取水口より上流			Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	箕面川(2)	箕面市取水口から兵庫県界まで			Bロ	→	→	→	Aイ	→	→	→	→	→	Aイ
	余野川	全域			Bイ	→	→	→	Aイ	→	→	→	→	→	Aイ
	千里川	全域			Cロ	→	→	→	Aイ	→	→	→	→	→	Aイ
	田尻川	兵庫県界より上流									Aイ	→	→	→	Aイ
	一庫・大路次川	京都府界から兵庫県界まで									Aイ	→	→	→	Aイ
	山辺川	全域									Aイ	→	→	→	Aイ

*網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

表1 BOD等の類型指定・改定の経緯と現在の指定状況(2)

区分	河川水域名	区 域	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	現在
			S45	S48	S50	S53	H4	H13	H14	H15	H15	H21	H21	
寝屋川水系	寝屋川(1)	住道大橋より上流												Cイ
	寝屋川(2)	住道大橋より下流	Eハ	→	→	→	→	→	→	→	Dハ	→	→	Dハ
	恩智川	全域	Eハ	→	→	→	→	→	→	→	Dハ	→	→	Dイ
	古川	全域					Eハ	→	→	→	Dハ	→	→	Dロ
	第二寝屋川	全域			Eハ	→	→	→	→	→	Dハ	→	→	Dイ
	平野川分水路	全域					Eイ	→	→	→	Dイ	→	→	Dイ
	平野川	全域			Eハ	→	→	→	→	→	Dロ	→	→	Dイ
大阪市内河川	大川(大川+城北川)	大川全域及び城北川全域	Cイ	→	→	→	城北川追加	→	→	→	Bイ	→	→	Bイ
	堂島川	全域	Dイ	→	→	→	Cイ	→	→	→	Bイ	→	→	Bイ
	土佐堀川	全域	Eハ	→	→	→	Cハ	→	→	→	→	→	Cイ	Cイ
	道頓堀川	全域	Eハ	→	→	→	Cイ	→	→	→	Bハ	→	→	Bイ
	正蓮寺川	全域	Eロ	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	→	→	Bイ
	六軒家川	全域	Eハ	→	→	→	Cイ	→	→	→	Bイ	→	→	Bイ
	安治川	全域	Eイ	→	→	→	Cイ	→	→	→	Bイ	→	→	Bイ
	尻無川	全域	Eロ	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	→	→	Bイ
	木津川	全域	Eハ	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	→	→	Bイ
	木津川(重河)	全域	Eハ	→	→	→	Cイ	→	→	→	→	→	→	Bイ
	住吉川	全域	Eハ	→	→	→	Cハ	→	→	→	→	→	→	Bロ
	東横堀川	全域									Cイ	→	→	Bイ
	十三軒堀川	全域	Eハ	→	→	解除								
大和川水系	石川	全域	Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bイ
	千早川	全域			Bイ	→	→	→	→	→	Aイ	→	→	Aイ
	天見川	全域					Bイ	→	→	→	→	→	→	Bイ
	石見川	全域					Aイ	→	→	→	→	→	→	Aイ
	飛鳥川	全域									Cロ	→	→	Cロ
	梅川	全域									Cロ	→	→	Aイ
	佐備川	全域									Cイ	→	→	Cイ
	大和中流	桜井市初瀬取入口から浅香山まで	Cハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Cハ
	大和川下流	浅香山より下流	Dハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Dハ
	東除川	全域			Cハ	→	→	→	→	→	→	→	→	Cロ
	西除川(1)	狭山池流出端より上流			Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	Bロ
西除川(2)	狭山池流出端より下流			Dハ	→	→	→	→	→	→	→	→	Dロ	
泉州諸河川	石津川	全域		Eハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Dイ
	和田川	全域					Cハ	→	→	→	→	→	→	Cロ
	大津川上流	泉大津市高津取水口より上流		Bロ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bロ
	大津川下流	泉大津市高津取水口より下流	Dハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Dイ
	牛滝川	全域		Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bロ
	松尾川	全域		Bハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bハ
	槇尾川	全域		Bイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bイ
	父鬼川	全域		Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	春木川	全域		Eハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Dイ
	津田川	全域		Eハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Eイ
	近木川上流	柘谷川合流点より上流		Bイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bイ
	近木川下流	柘谷川合流点より下流		Eハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Dイ
	佐野川	全域		Eハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Eイ
	見出川	全域		Eハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Eイ
	櫻井川上流	兎田橋より上流		Bイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Bイ
	櫻井川下流	兎田橋より下流		Eハ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Eイ
	金熊寺川	全域		Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	男里川	全域		Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	菟砥川	全域		Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	山中川	全域		Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	番川	全域		Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	大川	全域		Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
	東川	全域		Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ
西川	全域		Aイ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	Aイ	

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

(2) 水生生物の保全に関する項目（全亜鉛、ノニルフェノール、LAS）

水生生物の保全に関する3項目の河川水質環境基準については、水生生物の生息状況に対応して生物A、生物特A、生物B、生物特Bの4つの類型が設定されている。大阪府内の河川では、表2に示すとおり、平成18年以降、順次、類型指定を行ってきている。平成28年4月現在では、環境大臣が淀川、神崎川、猪名川及び大和川の4河川4水域について、大阪府知事がその他の54河川59水域について、それぞれ指定している。

表2 水生生物の保全に関する項目の類型指定の経緯と現在の指定状況

指定・改定年月	概要	指定水域数				
		生物A	生物特A	生物B	生物特B	計
① 平成18年6月	国が大和川（全域）を類型指定	0	0	1	0	1
② 平成21年6月	府が54河川59水域を類型指定	9	0	51	0	60
③ 平成21年11月	国が淀川（全域）、神崎川（安威川、猪名川を除く神崎川）、猪名川(2)（ゴルフ橋より下流）を類型指定	9	0	54	0	63

区分	河川水域名	区域	①	②	③	現在
			H18	H21	H21	
淀川水系	淀川下流(1)	宇治川合流点から長柄堰まで			生物Bイ	生物Bイ
	淀川下流(2)	長柄堰より下流			生物Bイ	生物Bイ
	船橋川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	穂谷川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	樽尾川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	天野川	奈良県界より下流		生物Bイ	→	生物Bイ
	芥川(1)	京都府界から塚脇橋まで		生物Aイ	→	生物Aイ
	芥川(2)	塚脇橋より下流		生物Bイ	→	生物Bイ
	水無瀬川	全域		生物Aイ	→	生物Aイ
	神崎川	安威川、猪名川を除く神崎川			生物Bイ	生物Bイ
神崎川水系	安威川上流	茨木市取水口より上流		生物Aイ	→	生物Aイ
	安威川下流(1)	茨木市取水口から戸伏まで		生物Bイ	→	生物Bイ
	安威川下流(2)	戸伏から大正川合流点まで		生物Bイ	→	生物Bイ
	安威川下流(3)	大正川合流点より下流		生物Bイ	→	生物Bイ
	佐保川及び茨木川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	大正川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	藤尾寺川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	猪名川上流	箕面川合流点より上流			生物Bイ	生物Bイ
	猪名川下流(2)	瀬川分岐点から瀬川合流点まで				
	箕面川(1)	箕面市取水口より上流		生物Aイ	→	生物Aイ
	箕面川(2)	箕面市取水口から兵庫県界まで		生物Bイ	→	生物Bイ
	余野川	全域		生物Aイ	→	生物Aイ
	千里川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	田尻川	兵庫県界より上流		生物Aイ	→	生物Aイ
一庫・大路次川	京都府界から兵庫県界まで		生物Aイ	→	生物Aイ	
山辺川	全域		生物Aイ	→	生物Aイ	
寝屋川水系	寝屋川(1)	住道大橋より上流		生物Bロ	→	生物Bロ

区分	河川水域名	区域	①	②	③	現在
			H18	H21	H21	
大阪市内河川	大川（大川+城北川）	大川全域及び城北川全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	堂島川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	土佐堀川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	道頓堀川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	正蓮寺川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	六軒家川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	安治川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	尻無川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	木津川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	木津川運河	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	住吉川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	東横堀川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	石川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	千早川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	天見川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	石見川	全域		生物Aイ	→	生物Aイ
	飛鳥川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	梅川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
佐備川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ	
大和川水系	大和川中流	桜井市初瀬取入口から浅香山まで	生物Bイ	→	→	生物Bイ
	大和川下流	浅香山より下流		→	→	
	東除川	全域		生物Bロ	→	生物Bロ
	西除川(1)	狭山池流出端より上流		生物Bイ	→	生物Bイ
	和田川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	大津川上流	泉大津市高津取水口より上流		生物Bイ	→	生物Bイ
	牛滝川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	松尾川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	横尾川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	父屯川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
泉州諸河川	近木川上流	柜谷川合流点より上流		生物Bイ	→	生物Bイ
	樺井川上流	鬼田橋より上流		生物Bイ	→	生物Bイ
	金熊寺川	全域		生物Bロ	→	生物Bロ
	男里川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	菟取川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	山中川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	番川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	大川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	東川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ
	西川	全域		生物Bイ	→	生物Bイ

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

2 利用の状況

府内河川における利水等の状況は表3に示すとおりであり、前回類型指定の見直しを行った平成21年からの変化はない。

表3 府内河川における利水等の状況

水系	上水道水源	漁業権 (アユ・マスの遊漁 を実施)	利水
淀川水系	・淀川下流(1)	・芥川(1) ・水無瀬川	・農業用水
神崎川水系	・猪名川上流 ・箕面川(1)	・一庫・大路次川 ・山辺川 ・余野川 ・安威川	・農業用水 ・工業用水
寝屋川水系			・農業用水 ・工業用水
大阪市内河川			・工業用水
大和川水系	・石川 ・石見川		・農業用水
泉州諸河川	・近木川上流 ・父鬼川		・農業用水

また、府内河川における河川環境の活用や保全の取組の状況は表4に示すとおりであり、前回類型指定の見直しを行った平成21年以降も、活発な取組が進められている。

表4 府内河川における河川環境の活用や保全の取組の状況(1)

水系	取組の状況
淀川水系	<ul style="list-style-type: none"> ・芥川上流の摂津峡では、平成23年にハイキングコースが追加で整備されるなど、自然探勝の場として利用されている。 ・天野川で遊歩道が整備され、芥川で河川公園が整備されるなど、散策の場や水とふれあえる場として利用されている。 ・芥川では、アユをシンボルとした河川環境保全の取組が行われている。 ・地域の団体等が河川の一定区間の美化活動を継続的に行うアドプト・リバーの実施箇所数が16箇所(平成21年度末)から21箇所(平成27年12月)に増加している。
神崎川水系	<ul style="list-style-type: none"> ・箕面川では、箕面滝の周辺に箕面公園が整備され、自然探勝の場として利用されている。平成22年からは川床を設置し、新たな魅力づくり・賑わいづくりが進められている。 ・神崎川で遊歩道が整備され、千里川で親水空間が整備されるなど、散策の場や水とふれあえる場として利用されている。 ・アドプト・リバーの実施箇所数が35箇所(平成21年度末)から44箇所(平成27年12月)に増加している。
寝屋川水系	<ul style="list-style-type: none"> ・最下流部にあたる京橋口付近では、緑地を施した遊歩道や階段護岸等が整備され都心部のオアシ的存在として利用されているほか、観光船も運行されている。中流域では、治水緑地等が整備され、散策の場等として利用されている。 ・寝屋川上流域では、地域住民と連携して生物の生息にも配慮した親水空間の整備が進められており、平成25年には3箇所目の施設が完成し、水とふれあえる場として利用されている。 ・アドプト・リバーの実施箇所数が21箇所(平成21年度末)から36箇所(平成27年12月)に増加している。

表4 府内河川における河川環境の活用や保全の取組の状況（2）

水系	取組の状況
<p>大阪市内河川</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水の回廊を活用して水都大阪を推進する取組が平成 21 年から本格化しており、各地で遊歩道や船着場が整備され、散策の場や観光の拠点として利用されている。また、平成 23 年には毛馬桜之宮公園貯木場跡の水辺を活用して砂浜が整備され、水とふれあえる場として利用されている。 ・アドプト・リバーの実施箇所数が 8 箇所（平成 21 年度末）から 9 箇所（平成 27 年 12 月）に増加している。
<p>大和川水系</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・石見川では、川沿いにハイキングコースが整備され、自然探勝の場として利用されている。 ・石川で河川公園が整備されるなど、散策の場や水とふれあえる場として利用されている。 ・石川では、平成 24 年から、地元の高校生が中心となって、上流域へのアユの遡上を目指した取組が進められている。 ・アドプト・リバーの実施箇所数が 14 箇所（平成 21 年度末）から 21 箇所（平成 27 年 12 月）に増加している。
<p>泉州諸河川</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大津川や春木川では遊歩道が整備され、松尾川や牛滝川上流域では親水空間が整備されるなど、散策の場や水とふれあえる場として利用されている。 ・近木川の河口部において自然の再生を図るため、汽水ワンドが整備されている。 ・春木川の下流や佐野川の上流に位置する住吉川では、水とふれあえる場の整備が計画されている。 ・石津川では、アユをシンボルとした河川環境の改善に向けた取組が進められている。 ・アドプト・リバーの実施箇所数が 46 箇所（平成 21 年度末）から 70 箇所（平成 27 年 12 月）に増加している。

3 水質の状況

(1) 生活環境の保全に関する項目

1) BOD

(環境基準達成率の推移)

BODの環境基準達成率の推移は表5に示すとおりである。環境基準達成率は、現在の類型に基づく評価を開始した平成22年度には85.2%であったところ、平成26年度には90.1%となり、また、A類型の達成率が初めて100%となるなど、経年的にみると達成率は上昇している。

また、平成23年に策定した「大阪21世紀の新環境総合計画」では、平成32年度(2020年度)の目標を「BOD 3mg/L以下(B類型の環境基準値)を満たす河川の割合を8割にする」としている。BOD 3mg/L以下の水域の割合の推移は、図1に示すとおりであり、平成26年度は約7割の河川水域でこの目標を達成している。

表5 水質環境基準(BOD)の達成率の推移

年度 項目 類型(基準値)	平成22		平成23		平成24		平成25		平成26	
	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)	達成 状況	達成 率 (%)
	A	27 — 29	93.1	26 — 29	89.7	28 — 29	96.6	27 — 29	93.1	29 — 29
B	22 — 27	81.5	20 — 27	74.1	24 — 27	88.9	22 — 27	81.5	23 — 27	85.2
C	6 — 8	75.0	8 — 8	100	7 — 8	87.5	6 — 8	75.0	6 — 8	75.0
D	10 — 13	76.9	13 — 13	100	12 — 13	92.3	12 — 13	92.3	11 — 13	84.6
E	4 — 4	100	4 — 4	100	4 — 4	100	3 — 4	75.0	4 — 4	100
合計	69 — 81	85.2	71 — 81	87.7	75 — 81	92.6	70 — 81	86.4	73 — 81	90.1

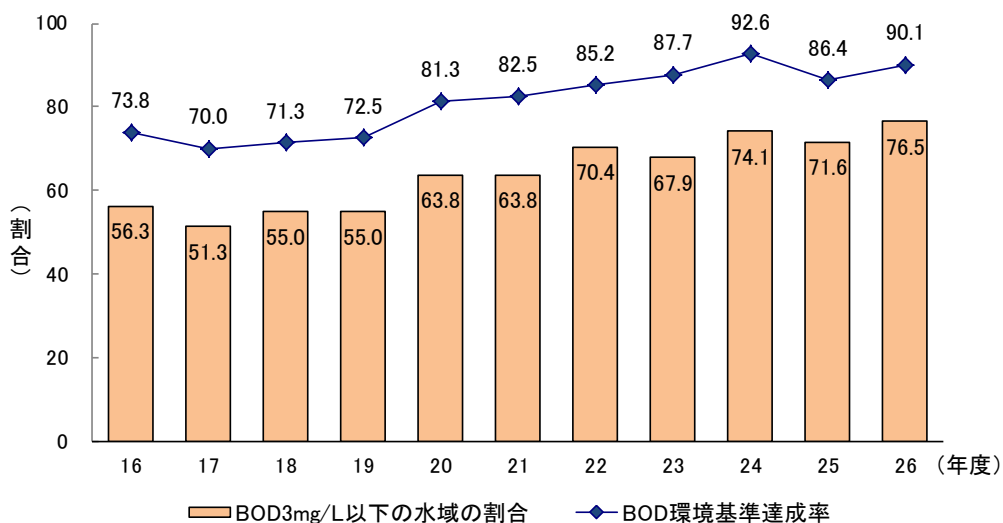


図1 水質環境基準(BOD)の達成状況及びBOD 3mg/L以下の水域の割合の推移

(BODの経年変化と類型指定改定状況)

BOD75%値及び年平均値の経年変化と類型指定改定状況は、表6及び表7に示すとおりである。また、府が類型指定を行う水域の水質の状況は以下のとおりである。

① 淀川水系

- 淀川水系は、計9水域のうち淀川本川の2水域について国が類型指定を行い、7水域について府が類型指定を行っている。
- 船橋川、穂谷川、天野川、檜尾川（いずれもB類型）のBOD75%値及び年平均値はともに改善傾向にある。
- 芥川(1)、芥川(2)、水無瀬川の3水域は現在のA類型を達成している。特に、芥川(1)及び水無瀬川は上位のAA類型の基準値（1mg/L）以下であり、良好な水質が維持されている。

表6-1 BOD75%値の経年変化と類型指定改定状況（淀川水系）

水域名(環境基準点)	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BODの75%値(mg/L)						H21 府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の 類型	AA類型 候補
				H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22	H23	H24	H25	H26		
淀川下流(1)(枚方大橋流心) (枚方大橋左岸) (枚方大橋右岸) (鳥飼大橋流心) (鳥飼大橋左岸) (鳥飼大橋右岸) (JR西日本赤川鉄橋)	B/A			1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1		1.3	1.1	1.4	1.2	1.0	B/A	
				1.2	1.6	1.3	1.4	1.3	1.2		1.2	1.3	1.3	1.3	1.1		
				1.0	1.6	1.3	1.0	1.2	1.1		1.3	1.2	1.2	1.3	1.1		
				1.5	1.6	1.1	1.1	1.2	1.1		1.3	1.2	1.3	1.1	1.0		
				0.9	1.4	1.2	1.2	1.3	1.1		1.0	1.4	1.2	1.2	0.9		
				0.8	1.4	1.4	1.1	1.1	1.2		1.0	1.2	1.2	1.1	0.9		
				1.4	1.7	1.3	1.3	1.2	1.5		1.2	1.2	1.3	1.6	1.1		
淀川下流(2)(伝法大橋)	D/I	D⇒C		2.5	3.8	4.1	4.8	5.2	3.8		1.6	1.3	1.8	5.5	5.8	C/I	
船橋川(新登橋上流)	B/A			8.0	8.9	4.6	5.7	4.6	4.1		3.3	4.6	3.0	3.6	3.3	B/A	
穂谷川(淀川合流直前)	B/A			6.1	11	4.7	5.1	4.2	3.9		5.5	5.1	4.0	2.8	2.1	B/A	
檜尾川(磐手社神社)	B/I			2.6	1.6	2.8	2.6	3.1	2.9		2.9	3.3	1.8	1.0	1.9	B/I	
天野川(淀川合流直前)	B/A			4.0	7.5	4.5	3.4	2.8	2.2		2.8	3.8	2.1	2.3	2.7	B/A	
芥川(1)(塚脇橋)	A/I			0.8	1.4	0.9	0.7	<0.5	0.9		0.9	0.7	0.5	0.6	0.8	A/I	AA候補
芥川(2)(鷺打橋)	B/O		B⇒A	1.1	1.8	1.1	0.9	1.1	1.0		0.9	1.0	0.8	1.3	1.1	A/I	
水無瀬川(名神高速道路高架橋下)	A/I			0.6	0.7	1.0	0.6	<0.5	0.6		0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.5	A/I	AA候補

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

太字 環境基準を達成せず

斜体 上位の環境基準を達成(例:現在B類型であるが、A類型の基準を達成している。)

表7-1 BOD年平均値の経年変化と類型指定改定状況（淀川水系）

水域名(環境基準点)	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BOD年平均値(mg/L)						H21 府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の 類型	AA類型 候補
				H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22	H23	H24	H25	H26		
淀川下流(1)(枚方大橋流心) (枚方大橋左岸) (枚方大橋右岸) (鳥飼大橋流心) (鳥飼大橋左岸) (鳥飼大橋右岸) (JR西日本赤川鉄橋)	B/A			1.0	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0		1.1	1.1	1.2	1.1	0.9	B/A	
				1.2	1.4	1.1	1.1	1.1	1.0		1.0	1.1	1.3	1.2	0.9		
				1.0	1.3	1.1	0.9	1.0	1.0		1.0	1.1	1.2	1.1	0.9		
				1.1	1.4	1.0	1.1	1.1	0.9		1.1	1.2	1.2	1.2	0.9		
				1.0	1.3	1.1	1.0	1.2	1.1		0.9	1.2	1.2	1.1	0.8		
				1.0	1.3	1.1	1.0	1.1	1.0		0.9	1.1	1.1	1.1	0.8		
				1.3	1.6	1.2	1.1	1.1	1.2		1.0	1.1	1.2	1.3	1.0		
淀川下流(2)(伝法大橋)	D/I	D⇒C		1.8	3.1	2.7	4.3	3.2	3.0		1.8	1.5	1.9	4.0	4.1	C/I	
船橋川(新登橋上流)	B/A			6.2	7.8	4.9	4.7	4.4	3.7		3.2	4.1	2.5	3.2	3.1	B/A	
穂谷川(淀川合流直前)	B/A			5.7	8.9	4.6	4.0	3.4	3.6		4.1	4.2	3.0	2.6	2.1	B/A	
檜尾川(磐手社神社)	B/I			2.3	1.7	2.3	2.2	2.6	2.6		2.5	2.4	1.7	1.0	1.5	B/I	
天野川(淀川合流直前)	B/A			3.3	6.2	4.0	2.8	2.4	2.0		2.4	3.1	1.8	2.0	2.2	B/A	
芥川(1)(塚脇橋)	A/I			0.8	1.1	0.8	0.9	0.5	0.8		0.8	0.6	0.6	0.6	0.7	A/I	AA候補
芥川(2)(鷺打橋)	B/O		B⇒A	1.0	1.5	1.0	0.9	0.9	0.9		0.8	1.0	0.8	1.3	0.9	A/I	
水無瀬川(名神高速道路高架橋下)	A/I			0.6	0.6	1.0	0.6	0.5	0.6		0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	A/I	AA候補

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

② 神崎川水系

- 神崎川水系は、計 17 水域のうち、神崎川、猪名川上流、猪名川下流(2)の3水域について国が類型指定を行い、14 水域について府が類型指定を行っている。
- 安威川上流は、良好な水質が維持されており、75%値は上位の A A 類型の基準値以下である。
- 前回の見直しで A 類型に改定した安威川下流(1)、安威川下流(2)、佐保川及び茨木川、大正川、勝尾寺川の 5 水域は、環境基準を達成している。
- 前回の見直しで B 類型に改定した安威川下流(3)は、環境基準を達成している。
- 箕面川(1)ほか猪名川の支川の 7 水域は、引き続き BOD 年平均値が 1 mg/L 程度と良好な水質を維持しており、A 類型の基準値を充分下回っている。

表 6-2 BOD 75% 値の経年変化と類型指定改定状況 (神崎川水系)

水域名(環境基準点)	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BODの75%値(mg/L)							H21 府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の 類型	AA類型 候補
				H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22		H23	H24	H25	H26			
神崎川(新三国橋) (千船橋)	E/A	E⇒B		1.9	2.3	2.4	2.2	1.5	4.4		1.4	1.5	1.8	1.6	1.3	B口		
				2.1	2.8	2.8	2.0	1.7	2.0		1.9	1.8	2.0	2.4	1.6			
				1.9	2.8	2.2	2.3	1.6	2.3		1.7	1.8	1.6	2.3	2.7			
左門殿川(辰巳橋)				1.1	0.8	0.8	1.4	0.9	1.2		0.9	0.6	0.6	0.7	0.9	Aイ	AA候補	
安威川上流(桑ノ原橋)	Aイ			1.5	1.8	1.1	1.5	1.1	1.3	B⇒A	1.2	1.3	1.0	1.1	1.2	Aイ		
安威川下流(1)(千歳橋)	B/A			1.5	1.8	1.5	1.9	1.1	1.4	B⇒A	1.2	1.1	1.2	1.4	1.5	Aイ		
安威川下流(2)(宮島橋)	Cイ		C⇒B	1.7	2.7	2.4	3.3	2.0	4.1	C⇒B	1.8	1.6	2.1	1.6	1.3	B口		
安威川下流(3)(新大阪橋)	E/A		E⇒C	1.9	1.7	1.1	1.5	1.2	1.2	B⇒A	1.3	1.0	1.1	1.1	1.3	Aイ		
佐保川及び茨木川(安威川合流直前)	Cイ		C⇒B	1.5	2.0	1.8	1.8	1.7	1.8	B⇒A	1.7	1.2	1.6	1.9	1.5	Aイ		
大正川(安威川合流直前)	C口		C⇒B	2.3	2.3	1.5	1.7	1.2	1.3	B⇒A	1.6	1.4	1.3	1.3	1.3	A口		
勝尾寺川(中河原橋)	C口		C⇒B	1.0	1.1	1.0	0.9	1.1	1.0	B⇒A	1.1	1.1	1.1	0.8	0.8	Aイ		
猪名川上流(銀橋) (軍行橋)	Bイ			1.0	1.0	0.9	0.8	1.1	0.9		1.1	1.1	1.0	0.8	0.8			
猪名川下流(2)(利倉橋)	Eイ	E⇒D		7.0	10	11	11	10	9.6		9.5	6.8	10	9.9	8.1	Dイ		
箕面川(1)(箕面市取水口)	Aイ			0.5	0.5	0.9	0.6	0.6	0.5		0.5	<0.5	0.7	0.5	0.6	Aイ	AA候補	
箕面川(2)(府県境)	B口		B⇒A	1.3	1.1	1.4	1.4	1.1	1.0		0.9	0.8	0.8	1.5	1.4	Aイ		
余野川(猪名川合流直前)	Bイ		B⇒A	0.8	0.8	1.1	0.7	0.5	0.6		0.5	<0.5	0.5	0.7	0.5	Aイ	AA候補	
千里川(猪名川合流直前)	Aイ			1.1	1.7	1.2	1.4	1.0	1.4		1.3	1.3	1.2	1.1	1.1	Aイ		
田尻川(兵庫県界)	—		新規 A	0.9	1.2	1.3	1.0	0.8	0.8		0.8	0.6	0.8	0.9	0.8	Aイ	AA候補	
一庫・大路次川(兵庫県界)	—		新規 A	0.8	0.8	1.2	1.0	0.7	0.8		0.8	0.7	0.7	0.9	0.6	Aイ	AA候補	
山辺川(一庫・大路次川合流直前)	—		新規 A	0.6	0.7	1.1	0.8	0.6	0.8		0.6	0.7	0.8	0.7	0.6	Aイ	AA候補	

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

太字 環境基準を達成せず

斜体 上位の環境基準を達成(例:現在B類型であるが、A類型の基準を達成している。)

表 7-2 BOD 年平均値の経年変化と類型指定改定状況 (神崎川水系)

水域名(環境基準点)	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BOD年平均値(mg/L)							H21 府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の 類型
				H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22		H23	H24	H25	H26		
神崎川(新三国橋) (千船橋)	E/A	E⇒B		1.7	1.9	2.4	1.9	1.6	2.4		1.5	1.9	1.9	1.5	1.4	B口	
				2.0	2.6	2.4	2.0	1.6	2.1		1.6	1.6	1.6	2.0	1.2		
				1.6	2.2	2.1	1.7	1.5	2.1		1.6	1.7	1.5	1.9	1.8		
左門殿川(辰巳橋)				0.9	0.7	0.7	1.2	0.8	0.9		0.8	0.6	0.6	0.7	0.9	Aイ	
安威川上流(桑ノ原橋)	Aイ			1.3	2.2	1.0	1.4	0.9	1.2	B⇒A	1.1	0.9	0.9	0.9	1.3	Aイ	
安威川下流(1)(千歳橋)	B/A			1.4	1.9	1.1	1.5	1.0	1.2	B⇒A	1.0	0.9	1.0	1.2	1.3	Aイ	
安威川下流(2)(宮島橋)	Cイ		C⇒B	1.6	2.2	2.0	2.5	1.7	2.8	C⇒B	1.8	1.8	2.3	1.5	1.4	B口	
安威川下流(3)(新大阪橋)	E/A		E⇒C	1.6	1.5	1.0	1.5	1.0	1.0	B⇒A	1.1	0.9	1.0	1.0	1.1	Aイ	
佐保川及び茨木川(安威川合流直前)	Cイ		C⇒B	1.5	1.6	1.6	1.6	1.4	1.6	B⇒A	1.3	1.1	1.7	1.6	1.4	Aイ	
大正川(安威川合流直前)	C口		C⇒B	1.9	1.9	1.3	1.6	1.1	1.3	B⇒A	1.4	1.2	1.1	1.1	1.2	A口	
勝尾寺川(中河原橋)	C口		C⇒B	0.9	1.0	0.9	0.8	1.0	0.9	B⇒A	0.9	1.0	0.9	0.7	0.7	Aイ	
猪名川上流(銀橋) (軍行橋)	Bイ			0.9	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8		0.9	0.9	0.9	0.7	0.7		
猪名川下流(2)(利倉橋)	Eイ	E⇒D		6.0	8.2	8.6	9.0	8.4	8.0		8.2	7.4	8.3	7.9	6.8	Dイ	
箕面川(1)(箕面市取水口)	Aイ			0.6	0.6	0.9	0.7	0.6	0.6		0.5	0.5	0.6	0.5	0.6	Aイ	
箕面川(2)(府県境)	B口		B⇒A	1.0	1.2	1.2	1.1	0.9	0.8		0.8	0.6	0.7	1.2	1.2	Aイ	
余野川(猪名川合流直前)	Bイ		B⇒A	0.6	0.7	1.0	0.6	0.6	0.6		0.5	0.6	0.5	0.6	0.5	Aイ	
千里川(猪名川合流直前)	Aイ			0.9	1.3	1.1	1.5	1.0	1.3		1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	Aイ	
田尻川(兵庫県界)	—		新規 A	0.7	1.0	1.1	0.7	0.8	0.7		0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	Aイ	
一庫・大路次川(兵庫県界)	—		新規 A	0.8	0.8	1.1	0.8	0.7	0.8		0.7	0.6	0.7	0.7	0.6	Aイ	
山辺川(一庫・大路次川合流直前)	—		新規 A	0.7	0.7	1.1	0.7	0.6	0.7		0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	Aイ	

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

③ 寝屋川水系

- 寝屋川水系については、府が全7水域の類型指定を行っている。いずれの水域もBOD年平均値は改善傾向にあり、平成20年度以降はほとんどの水域で環境基準を達成している。
- 前回の見直しでC類型に改定した寝屋川(1)では、環境基準を達成している。
- その他の水域でも現状のD類型の環境基準を充分達成している年度が多く見られる。

表6-3 BOD75%値の経年変化と類型指定改定状況（寝屋川水系）

水域名(環境基準点)	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BODの75%値(mg/L)						H21 府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の 類型	AA類型 候補
				H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22	H23	H24	H25	H26		
寝屋川(1)(萱島橋) (住道大橋)	E/A		E⇒D	2.9	3.2	1.8	2.6	1.2	1.8	D⇒C	1.2	1.6	2.0	1.9	2.2	C-I	
				3.5	4.1	3.4	4.1	1.9	2.2		1.9	1.9	2.4	2.1	1.6		
寝屋川(2)(今津橋) (京橋)	E/A		E⇒D	8.3	12	13	10	7.5	5.7		5.6	5.6	6.5	5.5	5.7	D-II	
				4.8	5.9	8.3	4.3	3.9	2.6		3.5	2.5	5.0	3.8	2.4		
恩智川(住道新橋)	E/A		E⇒D	6.3	7.3	6.6	8.5	6.0	5.5		5.1	3.7	3.7	3.2	2.7	D-I	
古川(徳栄橋)	E/A		E⇒D	7.4	10	12	10	6.8	5.6		5.6	5.4	4.4	4.4	6.2	D-II	
第二寝屋川(新金吾郎橋)	E/A		E⇒D	4.6	4.8	5.9	5.2	6.6	5.6		8.6	4.8	7.3	6.9	9.5	D-I	
平野川分水路(天王田大橋)	E-I		E⇒D	9.7	9.3	7.4	9.2	5.3	3.9		6.1	5.8	6.6	5.4	5.7	D-I	
平野川(城見橋)	E/A		E⇒D	8.4	9.5	8.4	7.2	5.6	4.0		5.9	5.7	5.9	4.5	5.1	D-I	

太字 環境基準を達成せず

斜体 上位の環境基準を達成(例:現在B類型であるが、A類型の基準を達成している。)

表7-3 BOD年平均値の経年変化と類型指定改定状況（寝屋川水系）

水域名(環境基準点)	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BOD年平均値(mg/L)						H21 府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の 類型	AA類型 候補
				H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22	H23	H24	H25	H26		
寝屋川(1)(萱島橋) (住道大橋)	E/A		E⇒D	2.5	2.8	1.9	1.9	1.0	1.5	D⇒C	0.9	1.4	1.7	1.6	1.9	C-I	
				3.0	3.6	3.0	3.9	1.6	2.1		1.6	1.8	2.2	1.7	1.5		
寝屋川(2)(今津橋) (京橋)	E/A		E⇒D	6.7	10	11	7.3	6.0	5.2		5.7	4.7	5.7	4.9	5.6	D-II	
				4.4	6.4	6.8	3.9	3.2	2.8		3.1	2.3	4.0	3.2	2.7		
恩智川(住道新橋)	E/A		E⇒D	5.3	5.8	4.9	6.3	5.1	4.1		3.8	3.2	3.4	2.7	2.5	D-I	
古川(徳栄橋)	E/A		E⇒D	6.0	8.8	9.6	7.0	5.4	4.6		4.2	4.8	5.0	3.7	4.2	D-II	
第二寝屋川(新金吾郎橋)	E/A		E⇒D	4.1	4.5	5.1	4.2	6.2	5.0		6.5	4.5	5.8	6.0	7.0	D-I	
平野川分水路(天王田大橋)	E-I		E⇒D	8.4	8.1	7.3	6.5	4.7	3.5		4.7	4.7	5.8	4.3	5.0	D-I	
平野川(城見橋)	E/A		E⇒D	7.0	8.4	7.8	5.8	4.6	4.6		4.7	4.4	4.5	4.0	4.2	D-I	

④ 大阪市内河川

- 大阪市内河川は、府が全 12 水域の類型指定を行っている。BOD年平均値は改善傾向にある。
- 前回の見直しでB類型に改定された正蓮寺川、尻無川、木津川、木津川運河、住吉川、東横堀川の6水域では、平成23年度を除き全て環境基準を達成している。
- その他の水域では、平成19年度以降はほとんどの水域で環境基準を達成している。

表6-4 BOD75%値の経年変化と類型指定改定状況（大阪市内河川）

水域名(環境基準点)	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BODの75%値(mg/L)						H21 府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の 類型	AA類型 候補
				H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22	H23	H24	H25	H26		
大 川 (桜 宮 橋)	Cイ		C⇒B	1.4	2.5	1.5	1.6	1.0	1.1		0.8	1.0	1.1	0.9	0.7	Bイ	
堂 島 川 (天 神 橋)	Cイ		C⇒B	2.2	3.9	3.1	2.6	1.7	1.5		1.8	1.9	2.2	1.5	1.2	Bイ	
土 佐 堀 川 (天 神 橋)	Cハ			5.0	6.2	5.6	3.4	2.5	1.7		1.9	2.0	2.9	1.7	1.7	Cイ	
道 頓 堀 川 (大 黒 橋)	Cイ		C⇒B	1.9	2.7	2.0	2.7	1.7	1.9		2.2	1.9	2.0	1.5	1.2	Bイ	
正 蓮 寺 川 (北 港 大 橋 下 流 700 m)	Cイ			2.4	2.9	2.1	3.0	2.7	2.9	C⇒B	2.4	1.8	1.8	3.0	2.1	Bイ	
六 軒 家 川 (春 日 出 橋)	Cイ		C⇒B	1.2	2.1	1.6	1.8	1.0	1.7		1.3	1.3	1.0	0.9	0.9	Bイ	
安 治 川 (天 保 山 渡)	Cイ		C⇒B	1.5	1.8	1.4	1.4	0.9	1.1		1.3	1.2	1.1	1.1	0.8	Bイ	
尻 無 川 (甚 兵 衛 渡)	Cイ			2.0	2.5	1.9	1.6	1.4	1.1	C⇒B	1.1	1.2	1.6	1.3	1.3	Bイ	
木 津 川 (千 本 松 渡)	Cイ			2.3	3.9	2.0	1.7	1.5	1.5	C⇒B	1.3	1.4	1.6	1.3	1.3	Bイ	
木 津 川 運 河 (船 町 渡)	Cイ			2.0	3.2	2.1	1.6	2.0	1.7	C⇒B	1.4	1.9	1.8	1.5	1.8	Bイ	
住 吉 川 (住 之 江 大 橋 下 流 1100 m)	Cハ			2.8	3.7	3.0	2.4	3.1	2.4	C⇒B	2.3	3.5	2.6	2.6	1.9	Bロ	
東 横 堀 川 (本 町 橋)	—		新規 C	2.6	3.6	2.0	2.3	1.8	1.5	C⇒B	2.0	2.0	1.8	1.6	1.5	Bイ	

太字 環境基準を達成せず

斜体 上位の環境基準を達成(例:現在B類型であるが、A類型の基準を達成している。)

表7-4 BOD年平均値の経年変化と類型指定改定状況（大阪市内河川）

水域名(環境基準点)	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BOD年平均値(mg/L)						H21 府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の 類型
				H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22	H23	H24	H25	H26	
大 川 (桜 宮 橋)	Cイ		C⇒B	1.2	2.3	1.4	1.3	1.0	1.0		0.7	0.9	0.9	0.8	0.6	Bイ
堂 島 川 (天 神 橋)	Cイ		C⇒B	1.9	3.2	3.1	2.1	1.7	1.6		1.6	1.5	2.1	1.3	1.2	Bイ
土 佐 堀 川 (天 神 橋)	Cハ			3.5	5.4	4.4	3.2	2.1	1.8		1.7	1.7	2.9	1.6	1.4	Cイ
道 頓 堀 川 (大 黒 橋)	Cイ		C⇒B	1.7	2.3	1.6	2.2	1.6	1.5		1.8	1.5	1.8	1.4	1.1	Bイ
正 蓮 寺 川 (北 港 大 橋 下 流 700 m)	Cイ			2.1	2.6	1.8	3.7	2.7	2.5	C⇒B	1.9	1.6	1.4	3.3	1.7	Bイ
六 軒 家 川 (春 日 出 橋)	Cイ		C⇒B	1.2	1.9	1.5	1.5	1.3	1.5		1.1	1.2	0.9	0.9	0.7	Bイ
安 治 川 (天 保 山 渡)	Cイ		C⇒B	1.2	1.5	1.3	1.3	0.9	1.0		1.0	1.0	0.9	1.0	0.8	Bイ
尻 無 川 (甚 兵 衛 渡)	Cイ			1.7	2.5	1.8	1.4	1.4	1.1	C⇒B	1.1	1.0	1.4	1.1	1.0	Bイ
木 津 川 (千 本 松 渡)	Cイ			2.0	3.0	1.8	1.6	1.4	1.8	C⇒B	1.2	1.3	1.3	1.2	1.4	Bイ
木 津 川 運 河 (船 町 渡)	Cイ			1.9	2.8	1.9	1.4	1.6	1.4	C⇒B	1.3	1.5	1.4	1.3	1.4	Bイ
住 吉 川 (住 之 江 大 橋 下 流 1100 m)	Cハ			2.6	3.9	2.8	2.0	2.4	2.5	C⇒B	2.7	2.8	3.0	2.7	2.2	Bロ
東 横 堀 川 (本 町 橋)	—		新規 C	2.3	3.3	1.9	2.0	1.5	1.4	C⇒B	1.6	1.8	1.7	1.3	1.2	Bイ

⑤ 大和川水系

- 大和川水系は、計 12 水域のうち大和川本川の 2 水域について国が類型指定を行い、10 水域について府が類型指定を行っている。BOD 年平均値は改善傾向にある。
- 前回の見直しで A 類型に改定した梅川は、環境基準を達成している。
- 千早川、石見川（いずれも A 類型）は環境基準を充分達成しており、とりわけ石見川については上位の AA 類型の基準値以下の年度が多い。
- 東除川、西除川(2)では近年、BOD 濃度が大幅に改善している。
- その他の水域でも平成 23 年度以降はほとんどの水域で環境基準を達成している。

表 6-5 BOD 75% 値の経年変化と類型指定改定状況（大和川水系）

水域	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BODの75%値(mg/L)						H21 府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の 類型	AA類型 候補
				H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22	H23	H24	H25	H26		
大和川 石川（高橋） （石川橋）	B-I			2.3	2.5	2.3	2.0	1.3	1.7		2.1	1.1	1.0	1.6	1.1	B-I	
				2.1	2.5	1.8	2.1	1.8	1.6	1.3	1.7	1.4	1.2	1.1			
大和川 千早川（石川合流直前）	B-I		B⇒A	1.1	0.9	1.3	1.6	1.2	1.2		0.9	0.8	1.0	1.3	0.6	A-I	
大和川 天見川（新喜多橋）	B-I			3.8	4.5	3.7	3.4	2.4	2.1		1.5	0.8	1.0	1.1	1.0	B-I	
大和川 石見川（新高野橋）	A-I			0.7	0.8	1.3	0.8	0.6	0.7		0.7	0.5	0.6	0.7	0.7	A-I	AA候補
和歌山 飛鳥川（円明橋）	—		新規 C	5.1	12	6.3	7.6	5.1	5.7		6.9	3.2	5.5	5.6	11	C-II	
和歌山 梅川（石川合流直前）	—		新規 B	1.6	1.7	1.7	1.8	1.1	1.3	B⇒A	1.3	1.1	1.0	1.1	1.1	A-I	
和歌山 佐備川（大伴橋）	—		新規 C	3.1	3.5	3.8	4.5	3.5	3.1		2.7	2.1	2.5	2.1	1.8	C-I	
大和川 大和川中流（河内橋） （浅香新取水口）	C/ハ			4.7	5.4	4.5	5.0	2.9	2.6		2.4	2.5	2.5	2.0	1.8	C/ハ	
				4.8	4.5	3.7	4.5	2.8	2.2	2.1	2.0	2.0	1.7	1.6			
大和川 大和川下流（遠里小野橋）	D/ハ			4.4	5.9	5.3	4.9	2.7	2.9		2.6	2.4	2.2	2.0	1.7	D/ハ	
大和川 東除川（明治小橋）	C-II			11	11	10	7.3	6.6	5.1		5.3	4.7	4.1	4.2	3.0	C-II	
大和川 西除川(1)（狭山池流出端）	B-II			2.8	3.0	2.4	3.2	2.4	2.9		3.1	2.8	2.0	3.0	3.5	B-II	
大和川 西除川(2)（大和川合流直前）	D-II			11	10	11	11	9.5	12		11	5.2	2.7	1.7	2.2	D-II	

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

太字 環境基準を達成せず

斜体 上位の環境基準を達成（例：現在B類型であるが、A類型の基準を達成している。）

表 7-5 BOD 年平均値の経年変化と類型指定改定状況（大和川水系）

水域	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BOD年平均値(mg/L)						H21 府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の 類型
				H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22	H23	H24	H25	H26	
大和川 石川（高橋） （石川橋）	B-I			1.8	1.8	2.0	1.6	1.3	1.9		1.8	1.0	0.9	1.5	1.1	B-I
				1.7	2.2	1.7	1.8	1.6	1.3	1.1	1.7	1.3	1.1	0.9		
大和川 千早川（石川合流直前）	B-I		B⇒A	0.8	0.8	1.2	1.2	1.0	0.9		0.8	0.7	0.8	0.9	0.6	A-I
大和川 天見川（新喜多橋）	B-I			2.9	3.7	3.0	3.1	2.1	1.7		1.3	0.9	0.9	0.9	0.8	B-I
大和川 石見川（新高野橋）	A-I			0.7	0.7	1.2	0.7	0.6	0.7		0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	A-I
和歌山 飛鳥川（円明橋）	—		新規 C	4.1	6.8	5.7	5.8	4.2	4.5		5.6	2.9	5.7	15	6.8	C-II
和歌山 梅川（石川合流直前）	—		新規 B	1.5	1.4	1.6	1.3	1.0	1.0	B⇒A	1.1	0.9	0.9	1.0	0.9	A-I
和歌山 佐備川（大伴橋）	—		新規 C	3.0	3.2	3.0	3.1	3.0	2.5		2.5	1.8	2.0	2.2	1.4	C-I
大和川 大和川中流（河内橋） （浅香新取水口）	C/ハ			3.9	4.4	3.4	3.4	2.6	2.2		2.3	2.2	2.1	1.9	1.7	C/ハ
				4.0	3.9	3.4	3.5	2.5	2.1	1.9	1.7	1.9	1.7	1.5		
大和川 大和川下流（遠里小野橋）	D/ハ			4.5	5.3	4.1	4.2	2.5	2.7		2.4	2.1	2.0	1.8	1.6	D/ハ
大和川 東除川（明治小橋）	C-II			9.1	9.3	8.4	5.6	5.7	4.2		4.4	4.0	3.8	3.5	2.7	C-II
大和川 西除川(1)（狭山池流出端）	B-II			3.0	2.5	2.4	2.9	2.1	2.4		2.6	2.3	1.8	2.5	3.3	B-II
大和川 西除川(2)（大和川合流直前）	D-II			10	9.8	10	8.9	8.4	11		9.5	6.5	2.2	1.7	1.7	D-II

※網掛けは、国が類型を指定する河川水域を示す。

⑥ 泉州諸河川

泉州諸河川は、府が全24水域の類型指定を行っている。前回の見直し後も毎年2～7水域で環境基準を達成していない。BOD年平均値は改善傾向にある。

前回の見直しでD類型に改定された春木川、近木川下流は、環境基準を達成している。

表6-6 BOD75%値の経年変化と類型指定改定状況（泉州諸河川）

水域	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BODの75%値(mg/L)						H21 府見直し	BODの75%値(mg/L)					現在の 類型	AA類型 候補	
				H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22	H23	H24	H25	H26			
泉 州	石津川（石津川橋）	Eハ			6.5	8.1	7.0	6.1	4.8	5.2	E⇒D	6.7	3.4	4.8	3.3	2.2	Dイ	
	和田川（小野々井橋）	Cロ			6.7	6.2	5.5	5.2	4.8	4.6		4.7	3.8	3.4	2.8	1.9	Cロ	
	大津川上流（高津取水口）	Bロ			6.8	7.6	4.7	3.9	3.7	3.4		3.3	3.0	3.2	3.9	3.4	Bロ	
	大津川下流（大津川橋）	Dイ			6.5	7.7	6.7	5.9	5.0	4.4		3.7	4.2	3.9	4.5	3.2	Dイ	
	牛滝川（高橋）	Bロ			3.2	2.8	3.2	2.5	2.4	4.0		2.4	2.2	2.5	2.2	2.5	Bロ	
	松尾川（新緑田橋）	Bハ			4.3	5.1	3.9	3.7	3.2	3.2		3.1	3.3	2.7	3.2	2.5	Bハ	
	横尾川（繁和橋）	Bイ			4.8	5.5	3.7	4.1	3.2	3.0		2.9	2.8	2.6	3.4	2.2	Bイ	
	父鬼川（神田橋）	Aイ			1.9	1.6	1.6	2.0	1.8	1.7		1.5	1.7	1.3	1.6	1.5	Aイ	
	春木川（春木橋）	Eハ			7.4	7.0	7.2	5.5	8.7	8.7	E⇒D	5.4	4.1	5.8	4.9	3.9	Dイ	
	津田川（昭代橋）	Eイ			11	10	9.3	8.9	6.8	7.1		5.0	6.5	4.9	5.6	6.5	Eイ	
諸 河 川	近木川上流（厄除橋）	Bイ			2.3	2.5	2.0	2.6	2.4	1.6		2.2	1.7	1.6	2.8	1.7	Bイ	
	近木川下流（近木川橋）	Eハ			6.6	9.2	7.7	7.5	6.3	4.4	E⇒D	5.3	4.8	4.3	6.5	4.5	Dイ	
	見出川（見出橋）	Eイ			11	12	13	13	8.7	8.4		9.3	8.0	8.4	12	8.8	Eイ	
	佐野川（昭平橋）	Eイ			9.2	10	9.6	9.0	7.1	6.4		5.1	5.6	6.2	8.4	6.0	Eイ	
	櫻井川上流（兎田橋）	Bイ			5.8	5.4	7.2	9.2	5.9	4.5		3.0	3.6	4.3	5.6	6.0	Bイ	
	櫻井川下流（櫻井川橋）	Eイ			7.9	7.1	8.0	8.6	7.0	6.1		4.9	5.3	4.3	4.6	4.2	Eイ	
	男里川（男里川橋）	Aイ			4.3	3.8	3.4	3.5	2.8	2.1		1.8	2.3	1.8	2.4	2.0	Aイ	
	金熊寺川（男里橋）	Aイ			3.3	3.0	2.2	2.9	2.6	2.4		2.6	2.7	2.3	2.4	1.8	Aイ	
	菟砥川（西打合橋）	Aイ			4.3	3.1	3.4	3.4	3.0	2.6		2.3	2.2	1.8	1.9	1.7	Aイ	
	山中川（東打合橋）	Aイ			1.8	1.7	1.5	2.0	1.9	1.5		1.5	1.9	1.3	1.7	1.8	Aイ	
川	番川（田身輪橋）	Aイ			1.2	1.2	0.9	1.2	1.2	1.4		1.2	1.3	1.0	1.2	1.2	Aイ	
	大川（昭南橋）	Aイ			1.5	1.7	1.1	1.7	1.9	1.6		1.6	1.4	1.3	1.6	1.4	Aイ	
	東川（一軒屋橋）	Aイ			1.6	1.9	1.4	2.0	1.6	1.5		1.5	1.7	1.2	1.4	1.4	Aイ	
	西川（こや橋）	Aイ			1.3	1.5	1.0	1.5	1.4	1.6		1.6	1.1	1.0	1.1	1.1	Aイ	

太字 環境基準を達成せず

斜体 上位の環境基準を達成（例：現在B類型であるが、A類型の基準を達成している。）

表7-6 BOD年平均値の経年変化と類型指定改定状況（泉州諸河川）

水域	H11の 類型	H12・15 国見直し	H14・15 府見直し	BOD年平均値(mg/L)						H21 府見直し	BODの年平均値(mg/L)					現在の 類型	
				H16	H17	H18	H19	H20	H21		H22	H23	H24	H25	H26		
泉 州	石津川（石津川橋）	Eハ			5.5	5.9	6.8	5.6	4.5	4.8	E⇒D	6.2	3.3	3.4	2.9	2.2	Dイ
	和田川（小野々井橋）	Cロ			7.1	5.5	5.6	4.6	4.2	4.0		4.4	3.4	2.7	2.8	1.9	Cロ
	大津川上流（高津取水口）	Bロ			5.3	5.6	3.9	3.5	3.3	2.9		2.9	2.8	2.9	3.3	3.1	Bロ
	大津川下流（大津川橋）	Dイ			6.0	6.6	5.0	5.0	4.1	4.1		3.6	3.6	3.2	3.7	2.7	Dイ
	牛滝川（高橋）	Bロ			3.1	2.6	3.6	2.0	2.1	3.1		2.4	2.0	2.1	1.8	2.1	Bロ
	松尾川（新緑田橋）	Bハ			3.8	4.2	3.3	3.6	3.1	2.8		3.0	3.1	2.4	2.8	2.4	Bハ
	横尾川（繁和橋）	Bイ			4.2	4.3	3.6	4.9	3.0	2.9		2.6	2.7	2.1	2.9	2.0	Bイ
	父鬼川（神田橋）	Aイ			1.7	1.4	1.4	1.7	1.8	1.3		1.3	1.5	1.2	1.3	1.5	Aイ
	春木川（春木橋）	Eハ			7.1	6.2	6.5	5.1	6.9	7.9	E⇒D	5.3	4.2	4.8	4.2	3.7	Dイ
	津田川（昭代橋）	Eイ			8.4	9.3	7.5	6.9	6.0	6.8		5.2	5.8	3.9	5.5	5.0	Eイ
諸 河 川	近木川上流（厄除橋）	Bイ			2.0	2.1	2.4	2.5	2.2	1.6		1.6	1.6	1.5	2.2	1.5	Bイ
	近木川下流（近木川橋）	Eハ			7.8	7.2	6.3	6.7	5.5	3.9	E⇒D	4.5	4.1	3.6	5.6	4.1	Dイ
	見出川（見出橋）	Eイ			9.9	12	12	12	8.7	7.2		8.5	7.8	7.4	10	7.9	Eイ
	佐野川（昭平橋）	Eイ			7.7	9.0	8.4	7.6	6.5	5.6		5.0	5.2	5.1	7.1	5.2	Eイ
	櫻井川上流（兎田橋）	Bイ			4.5	4.8	6.0	6.8	4.5	3.6		2.9	3.0	3.1	4.4	4.5	Bイ
	櫻井川下流（櫻井川橋）	Eイ			6.7	6.1	7.2	7.1	6.0	4.7		5.1	4.3	3.7	4.2	3.8	Eイ
	男里川（男里川橋）	Aイ			3.2	3.5	2.8	2.9	2.8	1.8		1.5	2.1	1.6	1.9	1.6	Aイ
	金熊寺川（男里橋）	Aイ			2.6	2.5	2.2	2.5	2.4	2.0		2.5	2.3	2.0	2.1	1.8	Aイ
	菟砥川（西打合橋）	Aイ			2.8	2.6	2.8	3.2	2.8	2.7		2.1	2.0	1.7	1.7	1.6	Aイ
	山中川（東打合橋）	Aイ			1.7	1.6	1.4	1.7	1.7	1.3		1.5	1.7	1.2	1.4	1.4	Aイ
川	番川（田身輪橋）	Aイ			1.3	1.0	0.8	1.0	1.3	1.0		1.0	1.1	0.9	1.0	1.1	Aイ
	大川（昭南橋）	Aイ			1.5	1.4	0.9	1.5	1.7	1.3		1.4	1.3	1.2	1.4	1.3	Aイ
	東川（一軒屋橋）	Aイ			1.7	1.5	1.2	1.7	1.5	1.3		1.5	1.6	1.1	1.3	1.2	Aイ
	西川（こや橋）	Aイ			1.3	1.3	0.9	1.4	1.3	1.3		1.2	1.1	0.8	1.0	1.0	Aイ

2) pH

- pHの環境基準値はA A～C類型が 6.5 以上 8.5 以下、D、E類型が 6.0 以上 8.5 以下と定められている。
- 大阪府の公共用水域水質調査では、原則として6時間間隔で4回採取し、個々の試料についてpHの測定を行っている。
- 平成26年度は表8に示すとおり、調査を行った3,642検体のうち、332検体がpHの環境基準を超過している（不適合割合9%）。環境基準点94地点中、1回以上環境基準を超過した測定結果がみられたのは、43地点であった。
- 超過状況を類型別にみると、A類型及びB類型の河川における超過が大半を占める。
- 超過状況を水系別にみると、淀川水系、神崎川水系、大和川水系、泉州諸河川で環境基準の超過が多くみられる一方で、寝屋川水系及び大阪市内河川における超過はほとんどみられない。
- 基準値の超過はいずれもpHが8.5を超えたことによるものであること、基準を超過した地点は水質の良好なA・B類型が大半であるとともに、図2に示すとおり神崎川水系、大和川水系、泉州諸河川においては、pHが高くなるほどDOの値が高くなる傾向がみられることから、pHの基準超過は光合成による影響が大きいものと考えられる。
- 寝屋川水系及び大阪市内河川については、コンクリートで囲まれており他の水系に比べて水深が深く藻類等に日光が届きにくいいため、光合成が活発には起こりにくくpHが高い値になりにくいと考えられる。

表8 pHの環境基準超過状況（平成26年度）

【類型別】

類型	不適合検体数/調査検体数(%)	超過地点数/環境基準点数(%)
A	139/1090 (13%)	21/30 (70%)
B	155/1388 (11%)	14/36 (39%)
C	22/372 (6%)	4/10 (40%)
D	8/600 (1%)	2/14 (14%)
E	8/192 (4%)	2/4 (50%)
計	332/3642 (9%)	43/94 (46%)

【水系別】

水系	不適合検体数/調査検体数(%)	超過地点数/環境基準点数(%)
淀川水系	78/380 (21%)	6/15 (40%)
神崎川水系	99/642 (15%)	14/20 (70%)
寝屋川水系	1/432 (0.2%)	0/9 (0%)
大阪市内河川	3/540 (1%)	1/12 (8%)
大和川水系	51/496 (10%)	5/14 (36%)
泉州諸河川	100/1152 (9%)	16/24 (67%)
計	332/3642 (9%)	43/94 (46%)

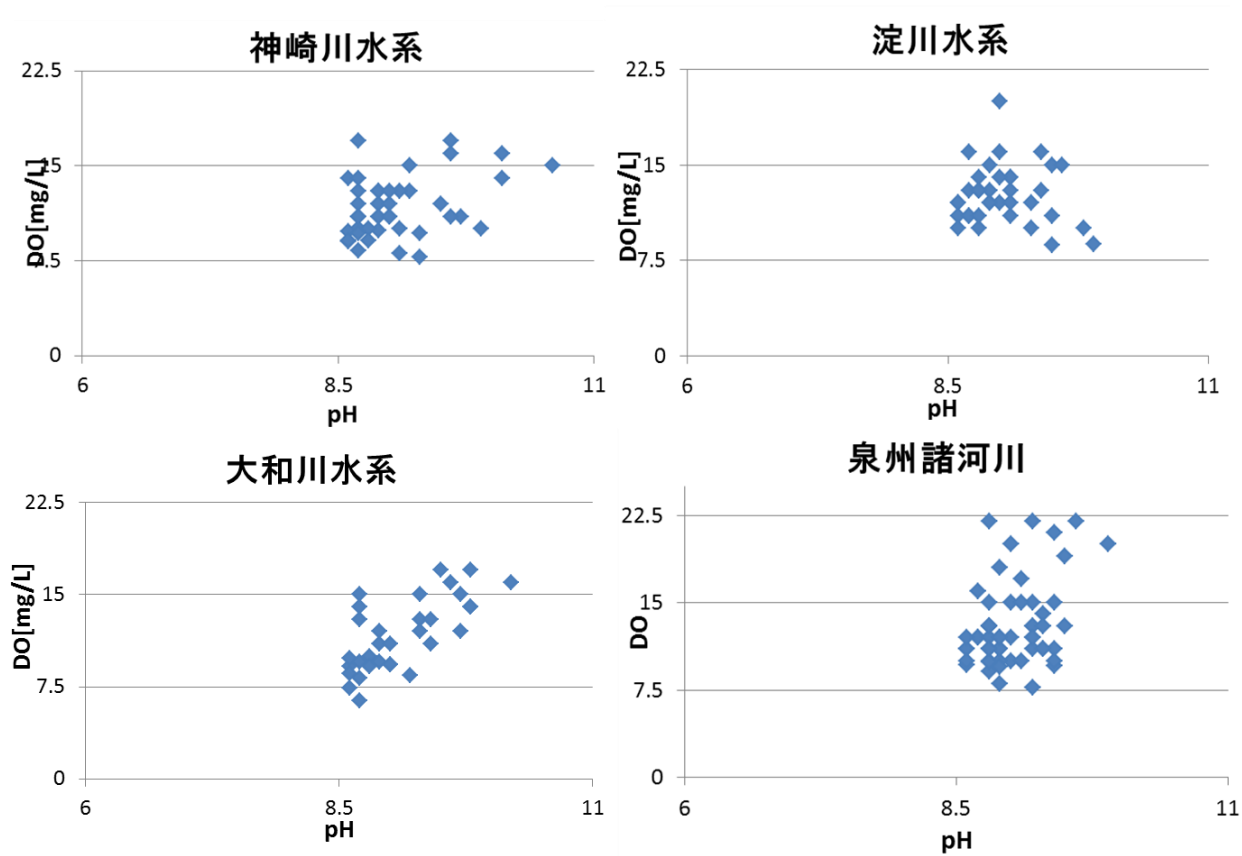


図2 水系別 pH（環境基準超過検体）とDOの散布図（平成26年度）

3) DO

- DOの環境基準値は、AA、A類型が7.5mg/L以上、B、C類型が5mg/L以上、D、E類型が2mg/L以上である。
- 大阪府の公共用水域水質調査では、午後3時に最も近い採水時の試料について、DOの測定を行っている。
- 平成26年度におけるDOの環境基準値を下回った検体数は、表9に示すとおり、調査を行った1,056検体のうち33検体(不適合割合3%)であり、概ねDOの環境基準を達成していると言える。
- 環境基準不適合状況を類型別にみると、B類型の水域が大半を占めており、E類型の水域では、環境基準の不適合は見られなかった。
- 環境基準不適合状況を水系別に見ると、大阪市内河川の水域が大半を占めており、淀川水系、神崎川水系では環境基準の不適合は見られなかった。
- 環境基準不適合が多く見られた大阪市内河川の道頓堀川及び住吉川(いずれもB類型)では、BODは過去5年間上位のA類型の環境基準を達成しており、pHも環境基準超過は見られなかった。これらの水域は感潮域にあり、流速が小さく、また、水深が深いことから、河川水の混合が起こりにくいために低酸素の状態になりやすいと考えられる。

表9 DOの環境基準不適合状況(平成26年度)

【類型別】

類型	不適合検体数/調査検体数(%)	不適合地点数/環境基準点数(%)
A	3/304 (1%)	2/30 (7%)
B	22/416 (5%)	7/36 (19%)
C	3/120 (3%)	3/10 (30%)
D	5/168 (3%)	5/14 (35%)
E	0/48 (0%)	0/4 (0%)
計	33/1056 (3%)	17/94 (18%)

【水系別】

水系	不適合検体数/調査検体数(%)	超過地点数/環境基準点数(%)
淀川水系	0/164 (0%)	0/15 (0%)
神崎川水系	0/192 (0%)	0/20 (0%)
寝屋川水系	6/108 (6%)	6/9 (67%)
大阪市内河川	23/144 (16%)	8/12 (67%)
大和川水系	2/160 (1%)	2/14 (14%)
泉州諸河川	2/288 (1%)	1/24 (4%)
計	33/1056 (3%)	17/94 (18%)

表 10 河川水質 (pH、DO) 調査結果 (平成 26 年度) 環境基準点 94 地点

水系	河川	測定地点	類型	pH					DO				
				最小値	最大値	m/n	基準超過回数	測定回数	最小値	最大値	平均値	m/n	
淀川	淀川	枚方大橋流心	B	7.5	7.9	0/12	0	12	7.7	13	9.7	0/12	
		枚方大橋左岸	B	7.5	7.9	0/12	0	12	7.7	13	9.7	0/12	
		枚方大橋右岸	B	7.6	7.9	0/12	0	12	7.7	13	9.8	0/12	
		鳥飼大橋流心	B	7.6	7.9	0/12	0	12	7.4	12	9.4	0/12	
		鳥飼大橋左岸	B	7.5	7.9	0/4	0	4	7.5	13	9.7	0/4	
		鳥飼大橋右岸	B	7.6	7.9	0/4	0	4	8	12	9.6	0/4	
		菅原城北大橋※1	B	7.6	7.9	0/12	0	12	7.6	12	9.4	0/12	
	伝法大橋	C	7.5	8.4	0/12	0	12	6.5	17	10.6	0/12		
	川	船橋川	新登橋上流	B	7.5	9.6	21/48	21	48	8.7	15	12.5	0/12
		穂谷川	淀川合流直前	B	7.7	9.9	13/48	13	48	8.8	20	12.4	0/12
檜尾川		磐手神社前	B	7.4	9	8/48	8	48	8.6	14	10.9	0/12	
天野川		淀川合流直前	B	7.3	9.4	10/48	10	48	9.1	16	12.9	0/12	
芥川		塚脇橋	A	7.8	9.4	22/48	22	48	10	16	11.8	0/12	
		鷺打橋	A	7.9	8.4	0/12	0	12	9	13	10.8	0/12	
水無瀬川		名神高速道路高架橋下	A	7.5	8.9	4/48	4	48	8.5	13	11.0	0/12	
神		神崎川	新三国橋	B	6.7	8.1	0/48	0	48	5.2	10	7.6	0/12
			千船橋	B	7.3	8.1	0/48	0	48	5.2	11	7.6	0/12
		左門殿川	辰巳橋	B	6.6	8.7	1/48	1	48	5.4	10	7.9	0/12
	桑ノ原橋		A	7.8	9	1/16	1	16	8.2	12	9.9	0/4	
	千歳橋		A	7.9	9	3/16	3	16	8.5	12	10.6	0/4	
	新宮鳥橋		A	7.3	8.7	11/48	11	48	9.3	17	12.0	0/12	
	茨木川	新京阪橋	B	7	8.1	0/48	0	48	6.3	11	8.2	0/12	
		安威川合流直前	A	7.9	9.1	8/48	8	48	9.8	14	11.5	0/12	
	大正川	安威川合流直前	A	7.2	9	7/48	7	48	8	14	10.7	0/12	
	勝尾寺川	中河原橋	A	7.6	9.2	6/48	6	48	8.4	15	11.7	0/12	
銀橋		A	7.6	8	0/12	0	12	8.4	14	10.7	0/12		
重行橋		A	7.7	8	0/12	0	12	8.7	12	10.3	0/12		
利倉橋		D	7.3	7.7	0/12	0	12	6	10	7.7	0/12		
川	箕面川	箕面市取水口	A	6.7	9	9/48	9	48	8.7	13	10.3	0/12	
		箕面県境	A	7.4	10.6	31/48	31	48	8.1	17	13.3	0/12	
	余野川	猪名川合流直前	A	7.4	8.8	1/16	1	16	8	12	9.9	0/4	
	千里川	猪名川合流直前	A	7.6	9.6	17/30	17	30	7.8	14	10.9	0/12	
	田尻川	兵庫県界	A	7.2	8.8	1/16	1	16	8.3	12	9.9	0/4	
		一庫・大路次川	A	7.5	8.8	2/16	2	16	8.3	13	10.1	0/4	
	山辺川	一庫・大路川合流直前	A	7.2	8.6	1/16	1	16	8.1	12	9.9	0/4	
	寝屋川	寝屋川	萱島橋	C	6.9	8.6	1/48	1	48	8.8	12	10.5	0/12
			住道大橋	C	7	8.3	0/48	0	48	4.9	11	8.6	1/12
			今津橋	D	7	7.3	0/48	0	48	2.7	8.3	5.7	0/12
恩智川		京橋	D	6.8	7.7	0/48	0	48	1.2	12	7.0	1/12	
		住道新橋	D	6.9	8.2	0/48	0	48	1.9	9.9	7.1	1/12	
古川		徳栄橋	D	6.9	7.3	0/48	0	48	1.9	8.4	5.2	1/12	
第二寝屋川		新金吾郎橋	D	6.7	8.1	0/48	0	48	5.6	11	7.8	0/12	
平野川分水路		天王田大橋	D	6.7	7.1	0/48	0	48	1.6	6.1	4.3	1/12	
平野川		城見橋	D	6.8	7.4	0/48	0	48	1.2	6.7	4.5	1/12	

環境基準	
pH	
AA~C類型	6.5以上8.5以下
D、E類型	6.0以上8.5以下
DO	
AAA類型	7.5mg/L以上
B、C類型	5mg/L以上
D、E類型	2mg/L以上

※1: 平成28年度より西日本旅客鉄道(株)赤川鉄橋に名称変更

水系	河川	測定地点	類型	pH					DO			
				最小値	最大値	m/n	基準超過回数	測定回数	最小値	最大値	平均値	m/n
大阪市内河川	大川	桜宮橋	B	7.2	7.7	0/48	0	48	7.3	12	9.2	0/12
	堂島川	天神橋	B	7	7.6	0/48	0	48	5.7	12	8.1	0/12
	土佐堀川	天神橋	C	7	7.6	0/48	0	48	4.4	10	7.6	1/12
	道頓堀川	大黒橋	B	7	7.5	0/48	0	48	1.6	9.4	5.3	5/12
	正蓮寺川	北港大橋下流700m	B	7	8.2	0/12	0	12	2.5	9.1	5.9	5/12
	六軒家川	春日出橋	B	7.4	7.9	0/48	0	48	5.1	10	7.4	0/12
	安治川	天保山渡	B	7.5	8	0/48	0	48	5.3	10	7.1	0/12
	尻無川	基兵衛渡	B	7.1	8	0/48	0	48	4.9	9.2	6.5	1/12
	木津川	千本松渡	B	7.1	8	0/48	0	48	4.7	8.7	6.3	1/12
	木津川運河	船町渡	B	7.3	8.9	3/48	3	48	4.9	17	9.3	1/12
住吉川	住之江大橋下流1100m	B	6.9	7.4	0/48	0	48	4.4	8.8	5.8	6/12	
東横堀川	本町橋	B	7	7.4	0/48	0	48	2	9.2	5.6	3/12	
大和川	石川	高石川橋	B	7.5	9.1	6/48	6	48	6.5	13	10.2	0/12
	石川	石川橋	B	7.9	8.2	0/12	0	12	8	12	10.1	0/12
	千早川	石川合流直前	A	7.6	8.6	1/16	1	16	7.4	12	9.5	1/4
	天見川	新喜多橋	B	7.6	8.4	0/48	0	48	7.3	12	9.8	0/12
	石見川	新高野橋	A	7.4	8.4	0/48	0	48	8.3	13	10.1	0/12
	飛鳥川	円明橋	C	7.1	8.4	0/48	0	48	4.9	12	8.7	1/12
	梅川	石川合流直前	A	7.2	8.1	0/48	0	48	8	11	9.5	0/12
	佐備川	大伴橋	C	7.4	8.9	2/48	2	48	7.8	13	10.1	0/12
	大和川	河内橋	C	7.9	8.1	0/12	0	12	7.8	11	9.4	0/12
	大和川	浅香新取水口	C	7.9	8.2	0/12	0	12	7.6	12	9.7	0/12
大和川	遠里小野橋	D	7.8	8.1	0/12	0	12	7.7	11	9.6	0/12	
東除川	明治小野橋	C	7.1	9.2	6/48	6	48	6.4	10	9.2	0/12	
西除川	狭山池流出端	B	7.4	10.3	36/48	36	48	7.8	17	14.0	0/12	
西除川	大和川合流直前	D	7	8.4	0/48	0	48	7.7	15	9.6	0/12	
泉州諸河川	石津川	石津川橋	D	7	8.3	0/48	0	48	6.6	10	8.1	0/12
	和田川	小野々井橋	C	7.2	9.5	13/48	13	48	9.5	13	11.1	0/12
	大津川	高津取水口	B	7	9.3	7/48	7	48	9	13	11.2	0/12
	大津川	大津川橋	D	6.4	8.9	7/48	7	48	8.4	13	10.5	0/12
	牛滝川	高津橋	B	7.1	9.4	8/48	8	48	7.5	12	9.9	0/12
	松尾川	新緑田橋	B	7.2	9.3	9/48	9	48	11	17	13.3	0/12
	槇尾川	繁和橋	B	6.7	9.2	10/48	10	48	10	15	12.3	0/12
	父鬼川	神田橋	A	6.5	9.4	3/48	3	48	8.1	14	10.6	0/12
	春木川	春木橋	D	6.9	7.7	0/48	0	48	7	12	9.4	0/12
	津田川	昭代橋	E	6.5	9.2	2/48	2	48	8.8	13	11.7	0/12
	近木川	厄除橋	B	6.6	8.6	1/48	1	48	8.3	13	10.7	0/12
	近木川	近木川橋	D	6.6	8.8	1/48	1	48	6.5	12	10.0	0/12
	見出川	見出橋	E	6.9	8	0/48	0	48	6.1	11	8.6	0/12
	佐野川	昭平橋	E	6.6	8.4	0/48	0	48	6.2	12	9.7	0/12
	櫻井川	禰田橋	B	7.1	9.9	22/48	22	48	11	22	16.1	0/12
	櫻井川	櫻井川橋	E	6.8	9.6	6/48	6	48	10	22	12.8	0/12
	男里川	男里川橋	A	6.7	8.3	0/48	0	48	8	13	10.4	0/12
	金熊寺川	男里橋	A	6.7	8.9	2/48	2	48	8.4	16	12.1	0/12
	菟砥川	西打合橋	A	6.5	9.2	2/48	2	48	9	15	12.2	0/12
	山中川	東打合橋	A	6.5	9.3	4/48	4	48	8.9	20	12.5	0/12
番川	田身輪橋	A	6.6	8.4	0/48	0	48	8.1	13	10.6	0/12	
大川	昭南橋	A	6.6	8.2	0/48	0	48	8.1	14	10.5	0/12	
東川	一軒家橋	A	6.5	9.1	3/48	3	48	7.6	15	11.4	0/12	
西川	こうや橋	A	6.5	8.5	0/48	0	48	7	13	9.6	2/12	

4) S S

- S Sの環境基準値は、A A～B類型で 25mg/L 以下、C類型で 50mg/L 以下、D類型で 100mg/L 以下、E類型では「ごみ等の浮遊が認められないこと」となっている。
- 大阪府の公共用水域水質調査では、原則として6時間間隔で4回採水し、混合試料についてS Sの測定を行っている。
- 平成 26 年度は、調査を行った 1,132 検体のうち、12 検体がS Sの環境基準値を超過している（不適合割合 1 %）。基準値の超過地点は表 11 に示すとおり、A類型及びB類型の8地点である。
- また、寝屋川水系、大阪市内河川ではS Sの環境基準値の超過は見られない。
- 基準値超過の主な原因は、周辺工事による土砂の巻き上げ等によるものである。

表 11 S Sの環境基準値超過地点一覧

水系	水域名	測定地点	測定日	S S	B O D	p H	D O	大腸菌群数	備考
淀川水系	檜尾川 【B類型】	磐手杜 神社	H26/4/9	33	2.5	8.5	9.9	33000	・河川調査時、上流で道路工事（新名神高速）が行われていた。
			H27/3/10	41	1	8.3	11	700	
神崎川水系	安威川下流 (1) 【A類型】	千歳橋	H26/5/8	31	1.7	8.7	10	130000	・河川調査時、上流で浚渫等の作業が実施されていた。
			H27/2/3	50	1.2	8	12	2800	
	安威川下流 (2) 【A類型】	宮島橋	H27/2/3	47	1.4	7.9	13	490	・河川調査時、上流で浚渫等の作業が実施されていた。
			H27/3/10	46	0.7	7.8	12	23000	
	勝尾寺川 【A類型】	中河原橋	H27/2/3	74	1.1	8.2	12	2300	・調査時、上流で浚渫等の作業が実施されていた。
猪名川上流 【A類型】	軍行橋	H27/1/13	39	0.3	7.9	12	170		
大和川水系	西除川(1) 【B類型】	狭山池流 出端	H26/7/1	38	9.2	10.2	16	6.8	下流の測定地点（狭山池流出端）にてアオコが発生
			H26/10/1	36	3.5	9.7	15	1300	下流の測定地点（狭山池流出端）にてアオコが発生
泉州諸河川	槇尾川 【B類型】	繁和橋	H26/12/9	39	3.1	8.4	14	2400	
	檜井川上流 【B類型】	兎田橋	26/5/8	33	12	9.9	20	22	・調査時、流れがなく、観測地点手前で止水されていたため、たまり水を採取し測定。

5) 大腸菌群数

- 大腸菌群数の環境基準値は、A A類型が 50MPN/100mL 以下、A類型が 1,000MPN/100mL 以下、B類型が 5,000MPN/100mL 以下であり、C～E類型では設定されていない。
- 大阪府の公共用水域水質調査では、午後 3 時に最も近い採水時の試料について、大腸菌群数の測定を行っている。
- 平成 26 年度は、大腸菌群数の測定を行っている A、B 類型のほとんどの地点で環境基準値を超過する値がみられた。
- 図 3 に示すとおり、大腸菌群数と BOD の間には明らかな関係性は見られなかった。
- 大腸菌群数について、国の検討会（今後の水環境保全に関する検討会「今後の水環境保全の在り方について（取りまとめ）」：平成 23 年 3 月）においては、『「ふん便汚染が想定されない山間部の河川等においても基準値を大きく上回る大腸菌群数が測定されるなど指標性に乏しい』との指摘があることから、大腸菌群数に代わる指標として大腸菌等に関する基準を検討すべき』とされている。

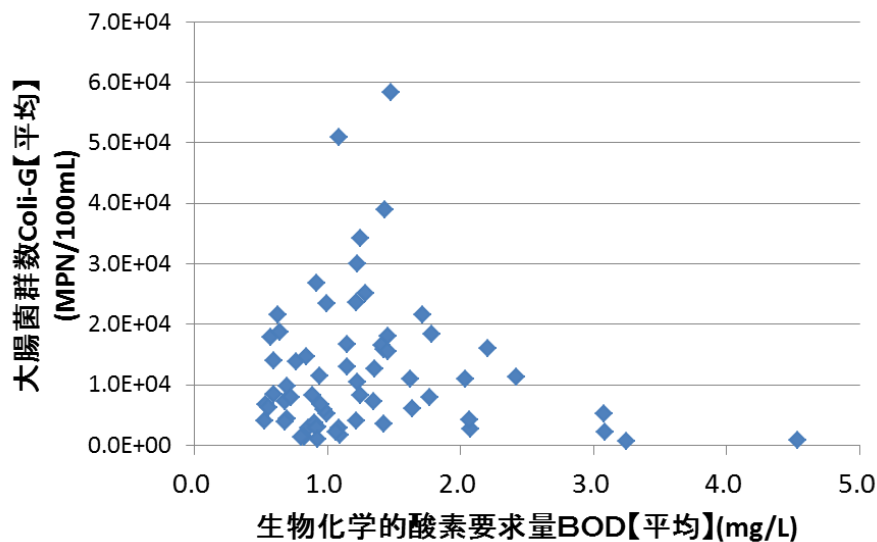


図3 全水系における大腸菌群数とBODの
散布図（年平均）（平成26年度）

表 12 河川水質（BOD、大腸菌群数）調査結果（平成 26 年度） 環境基準点 94 地点

水域	河川	測定地点	類型	生物化学的酸素要求量 BOD(mg/L)				大腸菌群数 Coli-G(MPN/100mL)					
				最小	最大	平均	m/n	最小	最大	平均	m/n		
淀川	淀川	枚方大橋流心	B	0.6	1.3	0.9	0/12	1.7E+02	1.3E+04	2.9E+03	1/12		
		枚方大橋左岸	B	0.5	1.2	0.9	0/12	3.3E+02	7.9E+03	2.9E+03	2/12		
		枚方大橋右岸	B	0.5	1.2	0.9	0/12	2.4E+02	1.3E+04	3.6E+03	2/12		
		鳥飼大橋流心	B	0.6	1.5	0.9	0/12	2.2E+02	7.9E+03	2.9E+03	1/12		
		鳥飼大橋左岸	B	0.6	1.0	0.8	0/4	1.7E+02	2.4E+03	1.3E+03	0/4		
		鳥飼大橋右岸	B	0.6	1.0	0.8	0/4	2.4E+02	3.3E+03	1.4E+03	0/4		
			西日本旅客鉄道(株)赤川鉄橋	B	0.6	1.6	1.0	0/12	3.3E+02	2.2E+04	5.2E+03	3/12	
	川	船橋川	新登橋上流	B	1.7	6.9	3.1	4/12	7.0E+01	1.7E+04	2.1E+03	1/12	
		穂谷川	淀川合流直前	B	0.8	3.8	2.1	1/12	3.3E+01	7.0E+03	2.7E+03	1/12	
		檜尾川	磐手神社前	B	0.6	2.5	1.5	0/12	7.0E+02	4.9E+05	5.8E+04	9/12	
		天野川	淀川合流直前	B	1.1	3.4	2.2	2/12	1.7E+03	7.9E+04	1.6E+04	7/12	
		芥川	塚脇橋	A	<0.5	1.1	0.7	0/12	7.0E+01	4.9E+04	7.3E+03	6/12	
				鷺打橋	A	0.4	1.7	0.9	0/12	1.3E+02	3.3E+04	8.2E+03	9/12
		水無瀬川	名神高速道路高架橋下	A	<0.5	0.7	0.5	0/12	1.1E+02	3.5E+04	6.8E+03	7/12	
神崎川		神崎川	新三国橋	B	0.6	5.8	1.4	1/12	9.4E+02	7.9E+04	1.6E+04	7/12	
	千船橋		B	<0.5	2.7	1.2	0/12	3.3E+02	1.7E+05	2.4E+04	5/12		
	左門殿川	辰巳橋	B	0.7	4.8	1.8	2/12	1.7E+03	1.3E+05	1.8E+04	5/12		
		安威川	桑ノ原橋	A	0.7	1.3	0.9	0/4	1.4E+02	1.7E+03	9.6E+02	2/4	
			千歳橋	A	1.0	1.7	1.3	0/4	1.7E+03	1.3E+05	3.4E+04	4/4	
			宮鳥橋	A	0.7	2.1	1.3	1/12	4.9E+01	4.9E+04	8.2E+03	5/12	
			新京阪橋	B	0.8	3.2	1.4	1/12	1.3E+03	3.5E+04	1.3E+04	10/12	
	茨木川	安威川合流直前	A	0.5	1.7	1.1	0/12	1.1E+02	1.1E+04	1.6E+03	4/12		
	大正川	安威川合流直前	A	1.0	2.1	1.4	1/12	1.7E+03	7.9E+04	1.7E+04	12/12		
	勝尾寺川	中河原橋	A	0.7	1.5	1.2	0/12	3.3E+02	1.1E+05	1.3E+04	9/12		
	川	猪名川	銀橋	A	0.3	1.0	0.7	0/12	1.7E+02	3.3E+04	4.3E+03	7/12	
			軍行橋	A	0.3	1.1	0.7	0/12	1.7E+02	2.4E+04	3.8E+03	6/12	
		箕面川	箕面市取水口	A	<0.5	0.7	0.6	0/12	7.9E+01	3.5E+04	6.2E+03	7/12	
			府境	A	0.6	2.7	1.2	1/12	3.3E+00	3.5E+04	4.1E+03	3/12	
余野川		猪名川合流直前	A	<0.5	0.6	0.5	0/4	2.3E+02	1.3E+04	4.0E+03	2/4		
千里川		猪名川合流直前	A	0.6	1.8	1.0	0/12	2.3E+02	1.7E+04	5.9E+03	7/12		
田尻川		兵庫県界	A	<0.5	0.9	0.7	0/4	3.3E+02	3.3E+04	9.8E+03	2/4		
一庫・大路次川		兵庫県界	A	0.5	0.8	0.6	0/4	4.9E+02	7.9E+04	2.2E+04	3/4		
山辺川	一庫・大路川合流直前	A	<0.5	0.7	0.6	0/4	1.7E+03	4.9E+04	1.8E+04	4/4			

(注) 大腸菌群数の環境基準が適用されるA類型、B類型の水域について記載

水域	河川	測定地点	類型	生物化学的酸素要求量 BOD(mg/L)				大腸菌群数 Coli-G(MPN/100mL)			
				最小	最大	平均	m/n	最小	最大	平均	m/n
大阪市 内河川	大川	桜宮橋	B	<0.5	0.9	0.6	0/12	3.3E+02	7.9E+04	1.9E+04	4/12
	堂島川	天神橋	B	0.5	3.2	1.2	1/12	2.4E+03	7.9E+04	1.7E+04	5/12
	道頓堀川	大黒橋	B	<0.5	1.9	1.1	0/12	1.1E+03	4.9E+03	2.8E+03	0/12
	正蓮寺川	北港大橋下流700m	B	0.9	2.9	1.7	0/12	7.9E+02	1.7E+05	2.2E+04	4/12
	六軒家川	春日出橋	B	<0.5	0.9	0.7	0/12	4.9E+02	3.3E+04	8.0E+03	5/12
	安治川	天保山渡	B	<0.5	1.1	0.8	0/12	3.3E+02	1.3E+05	1.4E+04	3/12
	尻無川	甚兵衛渡	B	0.5	1.5	1.0	0/12	7.9E+02	1.3E+05	2.3E+04	6/12
	木津川	千本松渡	B	0.7	4.7	1.4	1/12	1.7E+02	2.4E+05	3.9E+04	6/12
	木津川運河	船町渡	B	0.7	2.6	1.4	0/12	7.9E+01	4.9E+04	7.3E+03	3/12
	住吉川	住之江大橋下流1100m	B	0.9	7.6	2.2	1/12	4.6E+02	3.5E+06	3.2E+05	6/12
大和川	東横堀川	本町橋	B	0.5	3.8	1.2	1/12	1.3E+03	4.9E+04	1.1E+04	5/12
	石川	高橋	B	<0.5	2.4	1.1	0/12	4.9E+02	2.4E+05	5.1E+04	6/12
	石川	石川橋	B	0.7	1.5	0.9	0/12	1.7E+03	3.3E+04	1.1E+04	5/12
	千早川	石川合流直前	A	<0.5	0.7	0.6	0/4	4.9E+02	2.4E+04	8.4E+03	3/4
	天見川	新喜多橋	B	<0.5	1.3	0.8	0/12	1.3E+03	5.4E+04	1.5E+04	5/12
	石見川	新高野橋	A	<0.5	0.9	0.6	0/12	2.3E+02	7.9E+04	1.4E+04	10/12
泉州 諸河川	梅川	石川合流直前	A	<0.5	1.6	0.9	0/12	7.9E+02	1.3E+05	2.7E+04	11/12
	西除川	狭山池流出端	B	1.4	9.2	3.3	6/12	4.5E+00	2.4E+03	7.2E+02	0/12
	大津川	高津取水口	B	2.0	5.9	3.1	6/12	2.3E+02	2.4E+04	5.2E+03	4/12
	牛滝川	高橋	B	<0.5	4.7	2.1	1/12	2.3E+02	2.3E+04	4.2E+03	2/12
	松尾川	新緑田橋	B	1.5	4.6	2.4	1/12	7.9E+02	5.4E+04	1.1E+04	5/12
	榎尾川	繁和橋	B	1.4	3.1	2.0	1/12	7.9E+02	3.5E+04	1.1E+04	5/12
	父鬼川	神田橋	A	0.8	2.9	1.5	1/12	4.9E+02	9.2E+04	1.5E+04	11/12
	近木川	厄除橋	B	0.8	2.2	1.5	0/12	1.3E+03	5.4E+04	1.8E+04	8/12
	櫻井川	兔田橋	B	1.5	12.0	4.5	6/12	2.2E+01	3.5E+03	8.6E+02	0/12
	男里川	男里川橋	A	0.8	2.5	1.6	3/12	4.9E+02	3.5E+04	6.1E+03	11/12
河川	金熊寺川	男里橋	A	0.8	2.9	1.8	2/12	3.3E+02	3.5E+04	7.8E+03	10/12
	菟砥川	西打合橋	A	0.9	3.4	1.6	2/12	7.9E+02	5.4E+04	1.1E+04	11/12
	山中川	東打合橋	A	0.7	2.0	1.4	0/12	2.0E+01	1.6E+04	3.5E+03	8/12
	番川	川田身輪橋	A	<0.5	2.6	1.1	1/12	2.4E+02	5.4E+03	2.1E+03	8/12
	大川	昭南橋	A	0.8	2.0	1.3	0/12	1.3E+03	9.2E+04	2.5E+04	12/12
	東川	一軒家橋	A	0.5	1.7	1.2	0/12	7.0E+01	2.4E+05	3.0E+04	9/12
	西川	こうや橋	A	<0.5	1.5	1.0	0/12	2.3E+02	3.5E+04	6.8E+03	8/12

(注) 大腸菌群数の環境基準が適用されるA類型、B類型の水域について記載

(2) 水生生物の保全に関する項目

1) 全亜鉛

- 全亜鉛は平成 15 年 11 月に水生生物に係る環境基準項目として設定され、環境基準値は全類型一律に 0.03mg/L である。
- 平成 26 年度は、水生生物の保全に係る類型が指定されている 63 水域のうち 59 水域で全亜鉛に係る環境基準を達成し、達成率は 93.7% である。達成率は図 2 に示すとおり、平成 22 年度以降、毎年 90% 以上で推移している。
- 全亜鉛の環境基準の超過状況を類型別にみると、表 13 に示すとおり、すべて生物 B 類型で超過している。
- 超過状況を水系別にみると、平成 26 年度は淀川水系、大阪市内河川及び大和川水系で超過がみられ、これら超過が見られた水域の年平均値は 0.034~0.043mg/L の範囲にあった。
- 亜鉛の魚類等に及ぼす影響としては、急性毒性として呼吸障害による窒息死、慢性毒性として、腎臓や肝臓等に蓄積され、成長や繁殖に影響を及ぼすと考えられている。
- 全亜鉛の環境基準を超過した水域では BOD 濃度も高い場合が多く、全亜鉛のみの影響を取り出して判断することは難しいが、現在の超過濃度からみて、ただちに魚類等への影響があるとは考えられない。

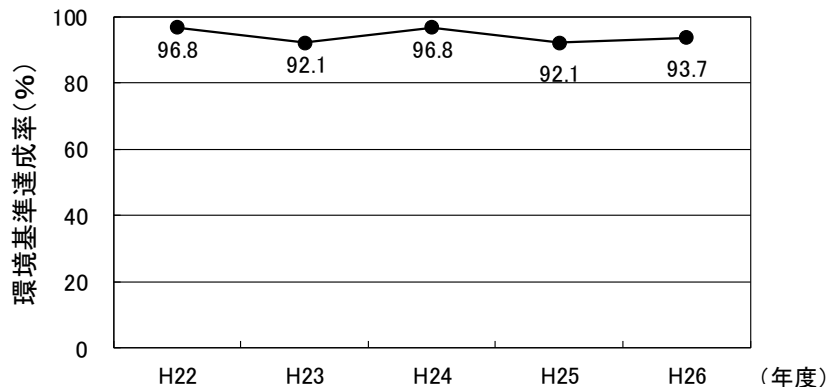


図 2 水質環境基準（全亜鉛）の達成率の推移

表 13 全亜鉛の環境基準超過状況（平成 26 年度）

【類型別】

類型	超過水域数／類型指定水域数 (%)	
生物 A	0 / 9 (0%)	4 / 63 (6.3%)
生物 B	4 / 54 (7.4%)	

【水系別】

水系	超過水域数／類型指定水域数 (%)	基準超過水域及び年平均値 (mg/L)
淀川水系	1 / 8 (12.5%)	船橋川 (0.036)
神崎川水系	0 / 16 (0%)	
寝屋川水系	0 / 1 (0%)	
大阪市内河川	2 / 12 (16.7%)	道頓堀川 (0.040)、東横堀川 (0.040)
大和川水系	1 / 10 (10%)	東除川 (0.043)
泉州諸河川	0 / 16 (0%)	
計	4 / 63 (6.3%)	

2) ノニルフェノール

- ノニルフェノールは平成 24 年 8 月に環境基準項目として追加され、環境基準値は生物 A 類型が 0.001mg/L 以下、生物特 A 類型が 0.0006mg/L 以下、生物 B 類型および生物特 B 類型が 0.002mg/L 以下と定められている。
- 平成 24 年度は 35 水域で、平成 25 年度以降は 63 水域で測定を行っており、これまですべての水域で環境基準を達成している。

3) LAS (直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)

- LAS は平成 25 年 3 月に項目追加され、環境基準値は生物 A 類型が 0.03mg/L 以下、生物特 A 類型が 0.02mg/L 以下、生物 B 類型が 0.05mg/L 以下、生物特 B 類型が 0.04mg/L 以下と定められている。
- 平成 26 年度から 63 水域で測定を行っており、すべての水域で環境基準を達成している。

(3) 魚類の生息の状況

- 魚類の生息の状況は表 14 に示すとおりであり、前回類型指定の見直しを行った際にとりまとめた調査結果とそれ以降に行われた調査結果を比較すると、全体として、確認される種類数が増加している。特に、近年水質の改善が見られた西除川、東除川、泉州諸河川等では、前回と比べて種類数が大幅に増加している。
- 表 15 に示す、生物 A に対応する魚種であるイワナ、カジカなどの冷水性の魚種や、希少種であるアジメドジョウ及びナガレホトケドジョウについては、芥川(1)や山辺川など前回と同様の水域で引き続き生息が確認されているほか、新たに安威川下流(1)で生息が確認されている。

表 15 水生生物類型に対応する主な魚介類

類型	主な魚介類
生物 A	アマゴ、サツキマス、ヤマメ、サクラマス、イワナ、アメマス、カラフトマス、シロザケ、ニジマス、スチールヘッド、ヒメマス、ベニサケ、カジカ
生物 B	ウグイ、シラウオ、オイカワ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、キンブナ、オオキンブナ、コイ、ドジョウ、ナマズ、ヨシノボリ、ウナギ、ボラ、スジエビ、テナガエビ、ヒラテテナガエビ、ミナミテナガエビ、ヌカエビ、モクズガニ、マシジミ、ヤマトシジミ